



ダフニークエンチB

～コールドクエンチ油～

分留範囲の狭いパラフィン系鉱油にアスファルテン系の冷却性向上剤を配合したコールドクエンチ用油で、優れた冷却性能と耐熱分離性を有します。ダフニーマスタークエンチA及びダフニークエンチGS70の姉妹品としてご使用頂けます。

1. 用途

- (1) 特定推奨処理部品
 - ① 大型鍛鋼品
 - ② 乗用車用鍛工品
 - ③ マリアブル, ダクタイル鋳鉄品
 - ④ 作業工具
 - ⑤ オイルテンパー線 等
- (2) 炉・油槽形式, 処理方法からみた適用
 - ① 開放油槽で団体焼入条件となり易い油槽
 - ・開放油槽 中・小物鍛工品
 - ・ピット炉付属油槽 各種自動車, 建設, 産業機械部品
 - ② 連続炉で比較的形状が複雑で焼きむらとなり易い処理品
 - ・メッシュベルト連続炉油槽 ボルト・ワッシャ, 作業工具
 - ・連続調質炉油槽 乗用車用各種鍛工品
 - ③ 鍛造焼入用 乗用車, 建設機械, 産業機械部品

2. 特徴

- (1) 焼入強烈度 $H=0.14$ 以上を有します。
- (2) 冷却性向上剤の耐熱分解性が優れているため, 使用による冷却特性の変化が極めて少ない焼入油です。
- (3) 酸化劣化しても酸化重合物がスラッジとして分離凝集し易い基油および添加剤を使用しているため, スケールオフ時にスラッジ, スケールが除去し易い焼入油です。
- (4) イオウが極めて少ないためトレイ, 治具の寿命に影響が無く, 処理物に付着して焼戻し炉に持ち込まれても, 最も問題の少ない焼入油です。
- (5) 基油の分留範囲が狭く, また添加剤の熱分解特性が優れているため, 団体焼入れにおいても焼きむらとなり難い焼入油です。
- (6) 界面活性剤を添加しておりませんので良好な水分離性能を有しております。
- (7) 危険物第4類第3石油類に該当します。

3. ご使用上の注意

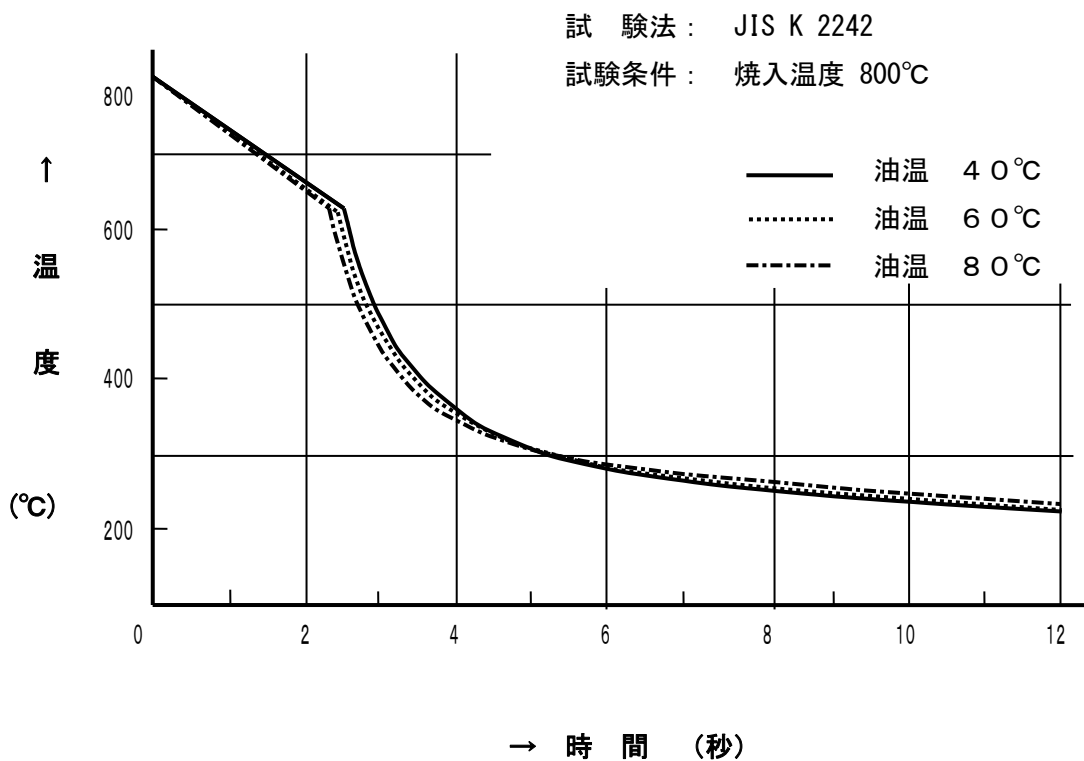
- (1) 常用油温は 90°C 以下でご使用下さい。それ以上では良好な性能が損なわれる恐れがあります。
- (2) 水分の混入には十分ご注意ください。400ppm以上の混入により, 団体焼入時に硬度むらを生じたり寿命を短縮させる恐れがあります。場合によっては水の沸騰により油が油槽外に流出し, 火災の原因となります。

ダフニークエンチBの性状・冷却曲線試験・酸化安定度試験例

1. 性状

項目			分析値
密度	@ 15°C	g/cm ³	0.8632
引火点	(COC)	°C	180
動粘度	@ 40°C	mm ² /s	18.33
	@ 100°C	mm ² /s	3.951
粘度指数			111
酸価		mgKOH/g	0.01
残留炭素		wt%	0.50
焼入強烈度(H値)	@80°C	cm ⁻¹	0.147

2. 冷却曲線



3. 酸化安定度試験

試験法： インディアナ酸化安定度試験
 試験条件： 油温 170±2.5℃
 空気吹込量 10ℓ/h
 触媒 なし

試験結果

項目 試験時間	粘度 mm ² /s @40℃	粘度比	酸価 mgKOH/g	残留炭素分 wt%	不溶解分 (ノルマルペンタン) wt%
新油	18.33	1.00	0.01	0.50	—
24時間	18.88	1.03	0.64	0.51	0.43
48時間後	19.61	1.07	0.95	0.67	0.52
96時間後	20.16	1.10	1.52	0.89	0.89

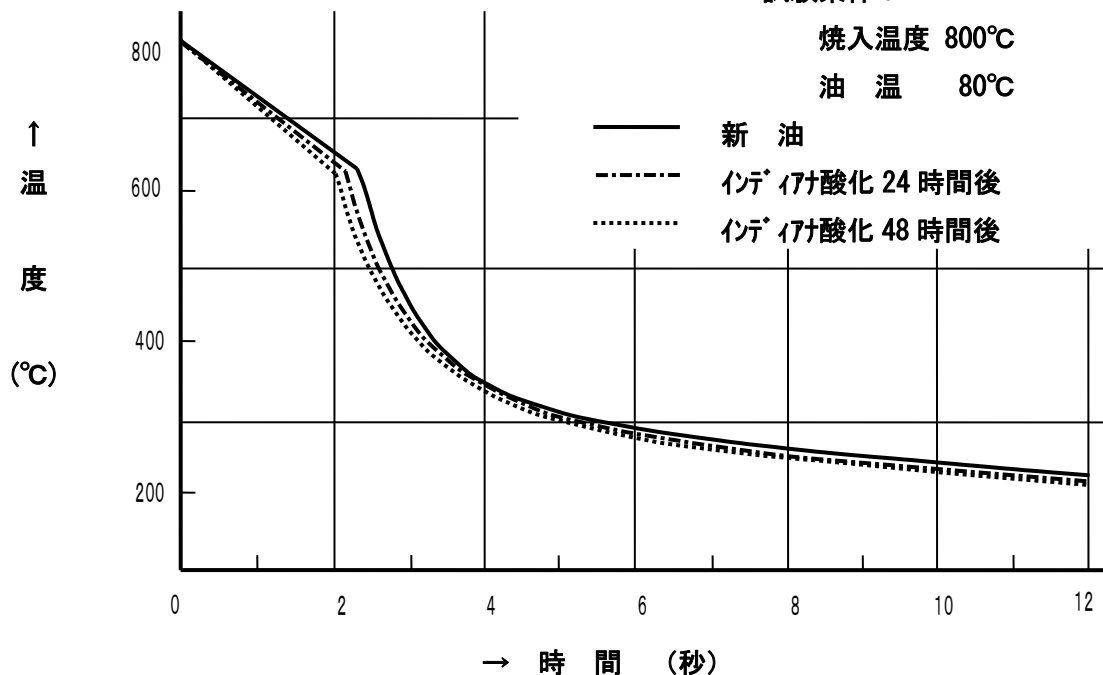
冷却曲線

試験法： JIS K 2242

試験条件：

焼入温度 800℃

油温 80℃



- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(SDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ (<https://www.idss.co.jp/business/lube/>) からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL:03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <https://www.idss.co.jp/business/lube/> から‘お問い合わせ事例のご紹介’まで